

令和5年度
社会福祉法人 永平寺町社会福祉協議会
事業報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

<総括>

近年は、介護保険収入の伸び悩みによる経営面での影響は大きく、住民のサービス低下に影響しない範囲で創意工夫のもと、事業の見直しや事務の効率化、時間外勤務の削減、リース物件や光熱費などの経費の削減等に努めてきた。

また、今年度は小規模多機能型居宅介護事業所の休止、上志比デイサービスセンターの運営形態の見直し、雇用形態の見直しなど大きな改革を図るとともに経営改善会議や事業所内の企画会議などを通じて品質向上にも努めてきた。

しかし、このような中で昨年度と比較して事業収支の面においては少しずつではあるが改善傾向は見られるものの、次年度以降も厳しい状況が続くことが予想される。

一方では、地域内での支え合い活動や小地域での福祉活動、ふれあいサロンなどの集いの場、ボランティア活動などは広がりが見られ、地域の住民参加による福祉力向上を重点目標の一つとして取り組んだことによる成果であったと言える。

部門ごとにおいては成果が見られるものもあるが、事業ごとに課題もあり、解決に向けて事業の効率性や必要性を意識しつつも、サービスの質の低下を招かないため「住民本位、利用者本位」を念頭に置き、組織全体で共有認識を強く持って業務にあたるとともに、同時に部門ごとに安定した収支バランスによる運営を目指し取り組んでいかなければならない。

次年度は、財政の立て直しに向けて改善し取り組んでいかなければならない中でも、職員が減少しており、サービスの質の維持向上と事業継続のためにも、職員の処遇改善の取り組みや次世代を担う職員の育成を図るなど組織基盤の強化に繋げていきたい。

そして、各関係機関と連携し、今後も引き続き町民の方々の理解や信頼が得られるようニーズに即した柔軟な対応と事業を推進し、本来の社会福祉法人の使命である公益活動の実践を通じて、掲げた目標の達成と社協らしい地域に根差した地域福祉の推進を目指していきたい。

法人運営事業

1. 法人運営事業

1) 評議員会の開催

回	開催日	内容	出席者
1	R5/6/26	令和4年度事業報告ならびに決算の承認について 理事及び監事の選任について	評議員14名中12名、 監事1名、正副会長
2	11/30	令和5年度第1次補正予算(案)について	評議員14名中13名 正副会長
3	R6/3/26	令和5年度第2次補正予算について 令和6年度事業計画ならびに資金収支当初予算について	評議員14名中14名 正副会長

2) 理事会の開催

回	開催日	内容	出席者
1	R5/6/9	令和4年度事業報告ならびに決算の承認について パートタイマー就業規則の一部改正について 理事及び監事候補者の推薦について 評議員候補者の推薦について 令和5年度定時評議員会の開催について 評議員選任・解任委員会の開催について	理事13名中11名 監事2名
2	6/27	会長、副会長及び常務理事の選定について 評議員選任・解任委員会委員の選任について	理事13名中11名 監事2名
3	11/22	令和5年度第1次補正予算について 段階的セーフティネット事業(案)について 松岡デイサービスセンターおよび永平寺デイサービスセンター運営規程の一部改正(案)について 第2回評議員会の開催について	理事12名中9名 監事2名中2名
4	R6/3/13	令和5年度第2次補正予算について 令和6年度事業計画ならびに資金収支当初予算の承認について 役員賠償責任保険契約の内容の承認について 令和5年度第3回評議員会の開催について	理事12名中10名 監事2名

3) 監査の実施

【令和4年度決算監査】

回	開催日	出席者
1	R5/5/26	監事2名、会長、常務理事

【令和5年度中間監査】

回	開催日	出席者
1	R5/11/8	監事2名、会長、常務理事

【内部会計監査】

税理士による定期的な会計指導及び内部監査の実施継続。

開催日	出席者
R5/4/24, 5/23, 6/23, 7/24, 8/23, 9/25, 10/24, 11/28 12/25, R6/1/26, 2/26, 3/25	税理士法人 MMC 2名、会計職員 2名

4) 評議員選任・解任委員会の開催

回	開催日	出席者
1	R5/6/26	評議員選任・解任委員会委員 3名

5) 理事・監事候補者選考委員会の開催

回	開催日	出席者
1	R5/6/27	理事・監事候補者選考委員会委員 3名

6) 部会の開催

回	開催日	部会名	内容	出席者
1	R5/10/10	地域福祉部会	部会長の選定について 福祉サービス利用料負担金軽減実施事業にかわる新たな事業（案）について 財務状況報告および今後の方向性について	部会委員 4名 会長
1	R5/10/6	在宅福祉部会	部会長の選定について 財務状況報告および今後の方向性について	部会委員 4名 会長
1	R5/10/12	法人運営部会	部会長の選定について 財務状況報告および今後の方向性について	部会委員 5名 会長
2	R6/2/28	法人運営部会	令和 6 年度事業計画及び資金収支当初予算（案）について	部会委員 5名中 4名 会長

7) 社協会費及び賛助会費の加入促進

貴重な自主財源である会費納入依頼や会費用途について、区長会、広報誌等を通し説明と依頼を行った。今年度は8月に普通会员の募集を行い、加入促進に努めた。

また、賛助会費については募集を再開したものの、チラシやホームページでの周知であったため、実績にはつながらなかった。

【各会費の推移表】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
普通会費	2,501,760円	2,393,000円	2,448,000円
特別会費	10,000円	0円	10,000円
賛助会費	0円	0円	5,000円

<評価>

普通会費については、昨年比で+55,000の増収となっている。納入率は、92.3%(R4 87.4%)となった。しかし再依頼などを行うことで未納地区は減ってはいるものの、全地区納入には至っていない。次年度は4月に募集を行うなど、丁寧に説明していく時間を設け町民の理解が得られるよう加入促進に努めていきたい。

8) メンタルヘルス対策事業

労働安全衛生法に基づき、衛生委員会を設置しメンタルヘルス対策に取り組んだ。

【衛生委員会】 毎月第2火曜日 14:00~15:00の1時間(永平寺事務所)

回	開催日	出席者	内容
1	R5/4/17	産業医 1名 事務局職員 4名	安全衛生委員会構成委員について 安全衛生管理活動計画について 新型コロナウイルス感染症対策の見直しについて
2	5/9	産業医 1名 事務局職員 4名	事業所巡回チェック結果について 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更後の対策について
3	6/13	産業医 1名 事務局職員 4名	事業所巡回チェック結果 ストレスチェック、職員研修について
4	7/11	産業医 1名 事務局職員 4名	事業所巡回チェック結果について 永平寺事務所における避難訓練について 職員のメンタルケアについて
5	8/8		中止
6	9/12	産業医 1名 事務局職員 4名	事業所巡回チェック結果について ストレスチェック結果(集団分析)について 新型コロナウイルス罹患における療養期間について 研修内容及び日程確定について

7	11/14	産業医 1 名 事務局職員 4 名	事業所巡回チェック結果について 新型コロナウイルス対応及び対策について の内規の見直しについて
8	12/12	産業医 1 名 事務局職員 4 名	事業所巡回チェック結果について 永平寺事務所 避難訓練について
9	R6/1/9	産業医 1 名 事務局職員 4 名	事業所巡回チェック結果について 永平寺事務所 避難訓練の報告について
	2/13		中止
	3/12	産業医 1 名 事務局職員 4 名	事業所巡回チェック結果について 永平寺事務所 避難訓練について 新型コロナウイルスに感染した場合の対応 について（見直し） 今期衛生管理計画の振り返り及び次期衛生 管理計画について

【ストレスチェック】

心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）を全職員対象に実施。

○実施月 令和 5 年 7 月

○受験人数 永平寺事務所 56 名、上志比, 松岡事務所 55 名

9) 社会福祉大会の開催

令和 6 年 1 月 24 日に開催。なお、表彰選考委員会は書面決議にて実施。

- ・永平寺町社会福祉協議会会長表彰 22 名
- ・永平寺町社会福祉協議会感謝状授与者 5 名

10) 障がい者の雇用促進

「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき 3 名を継続雇用中

11) 仕事と生活の調和

職員の家庭生活状況に配慮した多様な制度利用を周知・勧奨しワークライフバランスの調和を図った。一方で有給休暇取得率は昨年より減少した。有給休暇が取りやすい職場環境改善に向けて、事務、業務の効率化に今後も取り組んでいきたい。

- ・有給休暇取得率 48%（一人あたりの取得日数 9.6 日）昨年比-2.4 日
- ・介護休暇取得 0 名
- ・子の看護休暇取得 4 名（男性 1 名 女性 3 名）

12) 災害時における各種関係機関との協力体制の確立

- ・R5/7/12～13 の大雨時には、町からの情報をもとに局内の連携を図り高齢者、障がい者宅等の安否確認を行う。
- ・R6 年 1 月の令和 6 年能登半島地震においては、3 月末時点で 2 名を輪島市社協へ派遣。災害ボランティアセンター立上げや現地ニーズ調査等の支援を行った。

13) 経営基盤の強化

経営改善を図るべく、介護保険事業を中心に課を超えてプロジェクトとして取り組みを行った。

①経営改善プロジェクトの推進

- ・各事業所の紹介や、定期新聞、イベント情報など各事業所の特徴を生かした品質向上への取組の推進。
- ・デイサービス運営会議の定期開催。
- ・ホームページ、FaceBook等の活用。事業所の紹介動画等の掲載。
- ・体験利用の受入れによる利用促進。
- ・時間外手当の削減。
- ・リース車両台数見直しや水道光熱費の削減。
- ・業務継続計画の策定

②その他

社協内ネットワーク通信を有効活用し、事務の効率化や情報共有、各種研修案内などの周知徹底に努めた。

2. 永平寺事務所運営事業

永平寺地区の総合相談窓口として、相談業務及び連絡調整にあたってきた。

3. 企画調整事業

1) 苦情解決体制の整備（令和4年度：4件 前年比-1件）

No.	苦情の種類・内容	発生日	解決状況
1	サービスに関すること（松岡デイサービスセンター） 【内容】食事の摂取方法に関する改善要望	6/16	解決済み
2	サービスに関すること（松岡デイサービスセンター） 【内容】職員の声掛けに関する改善要望	7/5	解決済み
3	サービスに関すること（上志比デイサービスセンター） 【内容】デイ利用時に状態変化があった場合の職員対応に関する改善要望	7/19	解決済み

<評価>

職員への接遇および技術研修のほかご利用者の声の収集等、品質向上のための取組みを継続的に実施していく。

2) リスクマネジメント体制の整備

①事故発生件数9件（前年度比；-8件）

内 容	件 数
車両事故(前進時 1、停車時 2)	3件(前年度 5件)
介護事故(送迎時 1、施設内 5)	6件(前年度 11件)

その他の事故

0 件(前年度 1 件)

<評価>

今年度も昨年に引き続き事故発生に至る原因を検証、再発予防策を課・事業所内で検討し、職員間で情報共有に努めた結果、事故の発生件数が前年度と比べて減少している。

3) コンピュータネットワークの運用

・勤怠システムの運用

職員の勤怠管理をデータ化することで、給与事務の効率化を図り、法に基づいた適正な勤怠管理に努めた。

・ひかりインターネット回線運用

・デスクネッツ活用によるペーパーレス化（決裁の迅速化と費用節減）

・Wi-Fi システムの活用

各事業所に Wi-Fi システムを導入することで、事業所にとらわれることなく仕事を行うことができ、移動時間の短縮など業務効率の向上につながった。また、フリーWi-Fiを整備し、誰もがネットワークを活用できる環境づくりに努めた。

・勤務シフト作成支援ソフトの運用

通所介護事業所の勤務シフト作成の自動化を図り、効率的な事業運営を推進。

・「ソーシャルメディア運用に関するガイドライン」の運用

・「情報資産取扱いに関する基本方針」の運用

4. 企画広報事業

1) 広報紙の発行（「ほほえみ」隔月発行；全戸配布）

福祉情報、社協事業情報をわかりやすく、かつタイムリーにお届けするため、課を越えた横断的な連携により、情報の発信に努めた。次年度は紙面構成の見直しなどし、幅広く町民に社協活動や福祉情報に関心を持ってもらえるよう取り組んでいく。

2) フェイスブック・ツイッター（SNS）での情報発信

情報の発信が非常に円滑な SNS を活用し、町民を中心に事業の案内や福祉情報の発信に有効活用した。

3) ホームページの運用・改善

昨年より見やすく、目的の情報をいち早く検索できるホームページを作成、随時更新に努め、必要な情報を素早く取得できるよう、取り組んだ。

5. 研修事業

1) 社会福祉援助技術実習生等の受け入れ

①福井県立大学2回生 8名

回	開催日	内容等
1	R5/8/9 1日間	各事業所見学実習

②福井県立大学3回生 2名

回	開催日	内容等
---	-----	-----

1	R5/9/19~10/26 24日間	ソーシャルワーク実習
---	--------------------	------------

6. やすらぎの郷管理運営事業

社協事業の有効利活用と町民の方々にホールを幅広く活用していただくために、周知を行った。

〈主な使用用途〉

理事会、評議員会、認知症カフェ、ふれあいサロン、ボランティアフェア in えいへいじ、夜桜を楽しむ会、学習支援(小中学校の長期休暇期間)、
団体活動(ボランティア・福祉団体等)、各種会議及び贈呈式 等

地域福祉活動事業

1. 地域福祉事業

1) 福祉委員活動の推進

①福祉委員活動報告書の活用

令和3年度から福祉委員活動報告書の提出方法をインターネット(google フォーム)や福祉委員専用の公式LINEでの提出を可能な環境にした。

昨年度と比較し報告書提出数は減少したため、社協が関わるべきタイミングを明確に知らせていただく書式に変更し、福祉委員と連携できる環境づくりを改善した。

〈活動報告書提出状況〉

松岡地区	77件	前年度比 -106件
永平寺地区	37件	前年度比 -32件
上志比地区	35件	前年度比 -40件
計	149件	前年度比 -178件

②福祉委員研修会の開催

日時：令和5年7月21日(金) 19:00~21:00 参加人数：36名

会場：福井県立大学永平寺キャンパス 多目的ホール3階

内容：身近な地域における住民方の生活・地域課題(お困りごと)の事例研修。

③福祉委員PRビデオ作成

内容：福祉委員ってなあに？

身近な地域における住民生活・福祉課題(困りごと)を見守り活動や声掛け相談の対応をしながら早期発見する地域のアンテナ役である福祉委員の活動を紹介。

④福祉委員委嘱式および研修会

日時：令和6年1月27日(土) 10:10~12:20

会場：上志比文化会館サンサンホール

《委嘱式》 委嘱期間：令和6年1月27日～令和7年12月31日

委嘱人数：131名

《研修会》 内 容：福祉とは 近きにありて 行うもの

～主役は住人！ 居場所と役割づくり～

講 師：金城大学 社会福祉学部教授 内慶瑞氏

2) 地域支え合い活動の推進

① ワンストップサービスの推進強化

事務所単位のワンストップサービス、早期解決に向けた相談に応じた。

コーディネート管理方法について見直した結果、昨年度より大幅な減少となった。

しかし実際は数字に表れていない相談も窓口業務を中心に多くあった。

〈相談件数内訳〉

相談する方の地区	件 数	増 減 比
松岡地区	187 件	前年度比 -109 件
永平寺地区	206 件	前年度比 - 69 件
上志比地区	81 件	前年度比 -107 件
計	474 件	前年度比 -285 件

3) 地域福祉活動の推進

町民自らが地域の福祉（生活）課題に気づき、その解決に向けた取り組みができるよう、話し合いや活動の場を設けるなどして、町民と協働して地域福祉を推進する。

①活動助成金の状況

小地域福祉委員会を設置する自治会に対して、活動助成金を交付。

小地域福祉委員会活動助成事業（交付額 558,000 円 前年度比+169,500 円）

松岡地区	14 件	前年度比 +3 件
永平寺地区	13 件	前年度比 +3 件
上志比地区	8 件	前年度比 +1 件
計	35 件	前年度比 +7 件

個別避難計画に関連する話し合いの場として活用する地区も増加し、結果として設置区数が昨年度より7区増加した。

②小地域福祉活動実践活動報告会の開催

日時：令和6年3月1日（金）19:00～20:00 参加者数：28 地区 32 名

会場：永平寺町開発センター 3階 大ホール

内容：事務局説明「小地域福祉委員会活動のいろは」

実践活動報告「災害時救援マップのすすめ ～中島福祉委員会～」

4) 生活支援体制整備事業（地域包括支援センター所管）との連携した取り組み

生活支援コーディネーターと連携・協力して、生活支援体制整備事業（地域包括支援

センター所管事業)の充実を図る。

【松岡地区】

シニアチャレンジ応援事業を活用し、松岡地区に松岡健康マージャン会が令和5年8月に発足。当初は松岡公民館事業として開催していたが、令和5年11月からは自主団体として毎月第2・4木曜日に開催し、23名の方が在籍。男性の閉じこもり防止や男性のサロン参加数の少なさの課題に対し、住民主体による新たな集いの場の設置に至った。御陵地区公民館での健康マージャンの立ち上げは担い手不足により保留。

【永平寺地区】

生活支援コーディネーターと連携し、志比北地区地域支え合い座談会を開催。話し合いの中で“子ども”をキーワードと捉え、「北っ子のわくわく交流会」を始動。地域と子どもを繋ぐ取り組みとして、4地区のサロンと志比北小学生と交流する仲介役を担った。

【上志比地区】

担い手不足等を理由に、令和5年度末にて『上志比地区ひまわりサポートの会』の活動が一時休止となる。引き続き継続的に活動支援を行う。上志比地区公民館で開催している健康マージャンは、冬季間限定での開催に反響があり、毎回会員が集まるようになった。

5) 子どもを中心とした地域への愛着を育む事業【愛着を育む事業補助金】

地域の実情に応じた身近なテーマのもと、子どもが中心となり自分たちが住む地域を知るための活動に参加することで、地域への愛着を育み、「未来へつなぐ地域福祉の向上」を目的とした事業を行った。

【松岡小学校】

対象：4年生 65名

目的：自分たちが住む地域の未来、できることについて考える

活動名：「松小 明るい未来にレッツゴー」

今年度は地域共生社会をテーマに、子どもたちも地域で生活する一員をとして、ユニバーサルデザインやピクトグラムを取り上げ、実際に地域でのバリアフリー探検やサロンにて高齢者と交流する機会を持つ。自分たちの身の回りや地域で生活する様々な人にとっての居場所、しあわせを考える機会を図り学習した。ケーブルTVとも連携済。

活動推進委員：4名(町内在住)

活動推進委員会：7回

福祉教育活動：7回「地域と福祉のおはなし」

「使いやすさとわかりやすさを考えてみよう」

「お助けピクトグラム発表会」「車いすバリアフリー探検」

「地域ふれあいサロンってどんなところ」

「フライングディスクに挑戦」

「松小明るい未来へレッツゴー★発表会」

【永平寺中学校】

対象：永平寺中学校1年生 46名

活動：3年間を通した探求学習の一貫とした事業「永平寺町の人にとっての幸せ」を

探究。町内在住の推進委員の方々の協力により各種企画を立案、実施。
「地域住民の方、地域にある社会資源との繋がり」の部分で社協が担う。
活動推進委員会：3回
福祉教育活動：3回「推進委員さんのここがすごい！インタビュー&タコシヨウカイ」
「地域に飛び出せ！校外学習」「永平寺町クイズ王決定戦」

2. ボランティアセンター活動事業

1) ボランティアセンター運営委員会の運営

	開催日	出席者数	内 容
第1回	R5/4/27	8名	・委嘱状の交付、新運営委員の紹介・令和5年度事業計画（上半期） ・生きがいボランティア活動を見つけよう会（仮）について ・登録ボランティア一覧及び活動ボランティア募集方法について
第2回	R5/8/31	8名	・「ボランティアフェア in えいへいじ」振返り ・福祉教育・学習の推進について ・ボランティア活動に関する相談・登録・コーディネートについて ・永平寺町ボランティアセンター in 白檜祭について
第3回	R6/2/29	8名	・令和5年度事業報告 ・令和6年度年間事業計画（案）について

2) ボランティア活動に関する相談・登録・コーディネート

	令和4年度	令和5年度	比 較
登録個人数	44名	51名	+7名
登録団体数	31団体(515名)	34団体(432名)	+3団体(-83名)
相談件数	222件	403件	+181件

相談の内容内訳

【ボランティアしたい】

「歌を披露できる場所はないか」、「自分にできるボランティア活動はないか」など

【ボランティアほしい】

「敬老の日に歌や楽器を披露し、盛り上げてくれるような人はいないか」、「夏休み期間中の行事ボランティア募集したい」など

【ボランティア活動保険関係】

「ボランティア登録と活動保険の加入タイミングについて」、「活動中の事故が起こった場合について」など

◆ ボランティアフェア in えいへいじ

目 的：オープン型のボランティア活動説明会を実施し、ボランティア活動に関心がある全年齢を対象に、それぞれのボランティア活動を幅広く知ってもらいかけづくりを行い、また、ボランティア間の交流も深める。

日 時：令和5年7月29日（土）10:00～15:00

場 所：永平寺町社会福祉協議会 本所（永平寺町石上27-41）

内 容：町内で活動されているボランティアさんが一堂に会し、ボランティア間の交流

や情報交換の場として初回の開催となった。小・中学生ボランティアが多数参加し、来年度に繋がるボランティアイベントとなった。

◆ ボランティアセンターin 白樫祭（福井県立大学祭）

日 時：令和5年10月14日（土）

会 場：福井県立大学 永平寺キャンパス敷地内

内 容：ボランティア相談・登録コーナー、情報展示コーナー、ちょボラコーナー、Instagramをイメージしたチェキ撮影

3) ボランティア講座、研修会の開催

福祉教育サポーター養成講座（応用編）

日 時：令和5年4月20日（木）13:30～16:30

参加者数：6名/10名中（福祉教育サポーター登録者）

内 容：令和4年度の養成講座の応用編として開催

コミュニケーションにおいて大切なことを学び福祉（防災）教育の共有を図る。

4) 福祉教育・学習の推進

対 象：町内全小学校4年生

テーマ：「防災（避難所での要支援者への支援について）」福祉（防災）教育

ねらい：車いす等の当事者が困っていることに対して、どんなお手伝いができるのか、介助における工夫点などをみんなと一緒に考える。

実施日	実施校	生徒数	講師、サポーター
5月31日	志比小学校	15名	社協職員3名、サポーター3名
6月1日	上志比小学校	18名	社協職員4名、サポーター4名
9月13日	志比北小学校	6名	社協職員2名、サポーター2名
9月20日	御陵小学校	20名	社協職員2名、サポーター4名
10月5日	松岡小学生	65名	社協職員2名、サポーター8名
11月7日	志比南小学校	5名	社協職員2名、サポーター3名
11月14日	吉野小学校	15名	社協職員2名、サポーター3名

5) 積雪時における除雪ボランティア体制の整備

	令和4年度	令和5年度	前年度比
登録個人数	14名	5名	△9名
登録団体人数	51名（1団体）	56名（1団体）	+5名（±0団体）
相談件数	24件	17件	△7件（
除雪件数	21件	3件	△18件

今年度はシニアチャレンジ応援事業を活用し、冬季に入る時期前に除雪派遣ニーズ調査書の

提出をいただき、除雪ボランティアによる除雪活動の優先順位などを協議しながら活動した。

6) ちょボラ活動（収集ボランティア活動等）の促進

＜エコキャップやプルタブの回収活動、チラシで作るゴミ箱作成等の促進を図る＞

- ・エコキャップやプルタブの回収活動として町内約 20 箇所に回収 BOX を各設置。

	エコキャップ		プルタブ	
	回収量	ワケ換算数	回収量	換金額
R4 年度	900.0kg	450 人分	約 95.5kg	約 5,310 円
R5 年度	2247.5kg	1,123 人分	約 107.5kg	約 5,110 円
前年度比	+1347.5kg	+ 673 人分	+12.0kg	-200 円

- ・エコキャップは「福井テレビエコキャップ運動委員会」へ進呈。
- ・プルタブは換金後、「町共同募金委員会」を通して被災地へ寄附。
令和 5 年台風 13 号災害義援金、福岡県令和 5 年 7 月豪雨災害義援金
石川県令和 6 年能登半島地震災害義援金

7) ボランティア活動保険の加入窓口

- ・ボランティアセンター登録者の活動保険料（350 円）を助成

	令和 4 年度末	令和 5 年度末	保険料額
登録個人保険加入数	45 名	51 名	172,200 円 (社協より助成)
登録団体保険加入数	30 団体 (477 名)	34 団体 (432 名)	
保険のみ加入数	26 団体 (389 名)	29 団体 (379 名)	自費加入

3. 地域ふれあいサロン事業

主に高齢者の身近なところでの集いの場づくりを目的に、自治会内のセンター等において、ボランティアや福祉委員、民生委員児童委員等の協力のもと、レクリエーションや健康体操を行い、健康維持（介護予防）と社会参加（閉じこもり防止）に向けた支援を行った。

1) 地域ふれあいサロン助成金の状況 3,482,000 円（前年度比：+530,600 円）

松岡地区	25 ヶ所	昨年度比±0
永平寺地区	18 ヶ所	昨年度比+2
上志比地区	16 ヶ所	昨年度比+1
計	59 ヶ所	昨年度比+3

2) サロン代表者会議の開催

No.	開催日時	会場	出席者
1	5 月 30 日 14:00～15:30	永平寺開発センター3 階大ホール	36 名
2	2 月 27 日 10:00～11:30	県大レストラン	37 名

【第 1 回サロン代表者会議】

- ・助成金の事務手続き変更点説明と「地域見守り訪問助成金」に関する説明及び事務手続き。

- ・サロン代表者おしゃべり会（サロン代表者同士の活発な交流の機会の提供。コロナ5類移行後のサロンの飲食の考え方、後継者問題、サロンでの外出等、コロナ後のサロン活動や取り組みなど、活発な意見交換の場となった）。

【第2回サロン代表者会議】

- ・令和5年度の報告、6年度の申請に関する説明を行う。
- ・県大レストランにて開催。代表者間の交流を兼ね、サロンでのお弁当の発注やレストランの活用も提案。

3) 活動の休止や縮小しているサロンへの支援強化、新規立ち上げの支援

【サロン設置地区】 59ヶ所（昨年度比 +3ヶ所）

4年におよぶコロナの影響は大きく、サロン自粛を余儀なくされたことにより、長引く長期休止で担い手不足や代表者の高齢化、活動意欲の低下もみられる。松岡地区の数ヶ所ではサロン代表者の交代により、サロンは継続している。また、永平寺地区の谷口区や光明寺区は3年ぶりにサロンを再開した。

4. 物品貸出事業

社協保有の福祉機器（車いす）や福祉車両を町民に無料で貸し出すことで、在宅での生活を支援する。また、地域での福祉活動や町民同士のつながりを促進する働きかけの一環として、レクリエーション用品や視聴覚機器等の無料貸し出しを行った。サロン開催の広がりもあり、貸出件数は増加している。

	令和4年度	令和5年度	比較
福祉車両（3台）	80件	129件	前年度比 +49件
物 品	230件	251件	前年度比 +21件
計	310件	380件	前年度比 +70件

5. 団体事務事業

住民団体の円滑な運営を補佐し、住民活動の促進を図る。

- ・永平寺町遺族連合会
- ・永平寺町英霊顕彰奉賛会
- ・福井県共同募金会永平寺町共同募金委員会

6. 子ども見守り強化事業

永平寺町子ども見守り宅食支援事業

地域の関係機関やボランティア等と協働を図りながら「宅食」と「学習支援」2つの取り組みを展開して、子どもの見守り体制の強化を図る。

1) 宅食

主にひとり親家庭や見守りが必要な家庭を対象に、児童宅を月1回訪問する。主に上志比地区と永平寺地区を中心に展開。宅食を通して、対象世帯との関係性を深めながら、見守り体制（対象者が抱える悩み、心配ごとに対する早期発見・予防対応）の強化を図る。

※毎月第4金曜日に実施

- 実施回数 : 12回
- 延べ利用者数 : 254名（前年度比 -3名）
- 延べ利用世帯数 : 171世帯（前年度比 -4世帯）

福井健康福祉センター、障害者相談支援事業所や地域包括支援センターとも連携協力し、多問題を抱えるご家庭にも包括的な相談対応を行っている。

2) 学習支援

長期休暇中（夏休み等）の宿題や苦手科目の克服、学期末の復習をするため、拠点型の学習支援を実施。今年度より、永平寺地区に加え、上志比地区でも実施。学習支援を通して、大人と子ども、相互の信頼関係に基づく安心安全な居場所づくりも図る。また、子育て世帯への食事作り負担軽減を考慮し、軽食を提供した。

- ・夏休み学習支援（7/21～8/9）

実施回数 : 13 回（永平寺：8 回 上志比：5 回）

延べ参加者数 : 64 名（+64 名）

- ・冬休み学習支援（12/25～1/5）

実施回数 : 8 回（永平寺：4 回 上志比：4 回）

延べ参加者数 : 39 名（+8 名）

7. 一般配分金事業・地域福祉事業

地域見守り訪問助成金（交付予定額 177,600 円）

熱中症予防啓発活動および見守り訪問の為に、サロン参加者などを対象に R5/6/1～9/30 の期間内に行った見守り活動にかかる経費を助成するための助成金を特別設置。

松岡地区	8ヶ所
永平寺地区	8ヶ所
上志比地区	2ヶ所
計	18ヶ所

8. 歳末配分金事業

1) ひとり暮らし交流会

日 時：令和 5 年 10 月 24 日(火)

会 場：あわら北潟温泉 hana ゆらり

参加者数：56 名（松岡：38 名/永平寺：11 名/上志比：7 名）

内 容：町内の 65 歳以上のひとり暮らし高齢者を一堂に会し、地区を超えた参加者同士の交流を図る。会席料理、温泉、お土産購入など、それぞれの形で楽しんでいただいた。

周知方法：民協地区支部会にて説明。対象者への周知、参加者の取りまとめを民生委員に依頼した。

2) 地域クリスマス会

子どもたちおよび地域の居場所づくりを目的に子どもから大人（高齢者）まで地域の人が集い、孤立・孤独の防止を図る。また、ほっこり（施設）の活用も目的としている。

初開催のため、周知は永平寺地区の小中学校に限定し試験的に実施。

開催日：12 月 25 日

会 場：ほっこり

参加者：16 名（子ども：10 名 大人：6 名）

3) 広報誌の発行事業

9. 災害配分金事業

火災等の災害に対して臨時に援助。(火事見舞金：1件)

福祉サービス利用支援事業

1. 福祉総合相談事業

弁護士による無料法律相談所開設

- ・各地区持ち回りで毎月開催(本所・永平寺事務所では電話相談での対応可能)。

開催回数	12回(前年度比：±0回)
相談者	64名(前年度比：+14名) うち電話相談3名(前年度比：+2名)

当会広報誌、役場広報誌、ポスター掲示等の広報活動継続。金融機関や公共施設に無料法律相談予定表を掲示依頼し、相談者増につながっている。

2. 日常生活自立支援事業

永平寺町民の方を対象に、判断能力等に不安がある高齢者や障がいのある方が自立した日常生活を送れるよう、福祉サービス利用援助、日常的金銭管理、書類等預かりなどを中心とした生活支援を行う事業。生活状況が複雑化する中において今後も需要があり、福祉関係者から利用に至ったケースが多い。

- ・利用者数 : 21人 前年度比(+3人)
(認知症高齢者14人、精神障がい者6人、知的障害1人)
- ・生活支援員 : 6人(前年度比+1人)
- ・新規契約締結件数 : 8件(前年度比：+2件)
- ・契約終了件数 : 4件(他市へ転居のため)

日常生活自立支援事業 相談件数内訳(経路・内容別)

認知症高齢者等	292件	前年度比 +35
知的障害者等	43件	前年度比 +36
精神障がい者等	114件	前年度比 +30
計	449件	前年度比 +101

3. 小口資金貸付事業

緊急小口福祉資金貸付事業(社協事業)

一時的な生活困窮に陥った人を対象に緊急的に資金を貸付し付け世帯の自立更生を図る。

貸付件数/残高 0件/0円(前年度比：-1件/-30,000円)

4. 生活福祉資金貸付事業

新型コロナウイルス感染の影響による収入の減少、休業、失業された方向けに「緊急小口資金」「総合支援資金」の特例貸付が令和2年3月より一斉にスタートし、令和4年9月末日をもって受付期間を終了した。令和5年1月より、それぞれの貸付種類に応じて順次

償還中。償還に向けた相談支援を適宜行っている。

申請状況

貸付資金種類	貸付件数	償還済	償還免除	返済中
緊急小口資金	74件	31件	27件	22件
総合支援資金(初回)	54件	17件	17件	20件
総合支援資金(延長貸付)	12件	2件	2件	2件
総合支援資金(再貸付)	14件	1件	1件	0件
計	154件	51件	47件	44件

※償還免除は償還済の内数

①生活福祉資金調査委員会・福祉サービス利用料負担軽減審査委員会

第1回 開催日：9月14日 5名/8名中

②生活福祉資金の広報活動 当会HPにて広報

5. 福祉サービス利用料負担金軽減実施事業

当会が実施する各種福祉サービスを経済的理由によって、利用が難しい低所得者を対象に利用負担金の補助を行う事業を令和5年9月末にて事業終了。

令和5年12月より段階的セーフティネット事業を開始したが、フードパントリー（業者からの食糧支援）などの有効活用などにより、今年度末現在申請には至っていない。

6. 成年後見サポート事業

成年後見制度の説明、対象者の相談や成年後見制度の利用に結び付けるために地域包括支援センターとの連携により支援を行う。令和4年6月に中核機関である「ふくい嶺北成年後見センター」が開設され、専門的相談を受ける相談窓口としての役割を担う。

今後、相互連携を図る。

在宅福祉サービス事業

1. 在宅福祉サービス事業

1) 在宅福祉サービス事業重点事業 評価

- ・「社協」の介護保険事業の運営の安定化

<評価>

今期より、小規模多機能型居宅介護事業を休止、上志比デイサービスセンターを平日型に移行など大きな経営判断のもと、社協の介護保険事業所の体制維持を目指してきた。事業特性上、右肩上がりの経営改善とまではいかないものの、真摯にご利用者様に向き合い、丁寧な対応の成果として運営形態変更に伴う影響は最小限に食い留めることができた。一方で新規利用者の獲得難や、ご利用者様の状態変化等の影響も強く、全体での報酬比は厳しい結果となった。

2. 配食サービス事業

3. 寝具洗濯サービス事業

4. 外出支援サービス事業

5. 家族介護(交流)教室事業

事業名	実績	
配食サービス事業	松岡地区：50名（3,874食） 永平寺地区：24名（1,460食） 上志比地区：13名（1,131食）	※前年比 松岡地区：-266食 永平寺地区：-63食 上志比地区：-377食
寝具洗濯サービス事業	一人暮らし高齢者：計137名 要介護3以上高齢者：計18名	※前年比 一人暮らし高齢者：+81名 要介護3以上高齢者：-11名
外出支援サービス事業	延べ利用件数：5,261件	前年比：-185件
家族介護（交流）教室事業	R5.7月：在宅介護の話、参加者9名 11月：寄せ植え教室、参加者21名 R6.2月：認知症の話、参加者44名	

ホームヘルプ事業

1. ホームヘルプ事業

2. 介護保険対象外ホームヘルプ事業

	実利用者数 (前年比)	累計訪問回数 (前年比)	新規利用者数 (前年比)
ホームヘルプ事業	715名（-14名）	6,072回（-1,215回）	21名（-13名）
介護保険対象外	58名（-29名）	81回（-29回）	—

<評価>

- ・新型コロナの影響（他事業所営業停止）等での追加利用が緩やかになり、限定的な受入れをするケースはなくなった。
- ・身体介護より生活援助のニーズが多い傾向にあり、報酬比・訪問回数の減少の一因と捉えている。

デイサービス事業

1. 松岡デイサービス事業

2. 永平寺デイサービス事業

3. 上志比デイサービス事業

事業所名	延べ利用者数 (前年比)	新規利用者数 (前年比)	稼働率平均 (前年比)
松岡デイサービスセンター (定員：45名)	7,682名(+750名)	27名(-4名)	55.5%(3.1)
永平寺デイサービスセンター (定員：40名)	6,666名(+66名)	23名(-5名)	53.9%(▲0.3)
上志比デイサービスセンター (定員：35名)	5,167名(-411人)	8名(-14名)	59.8%(6.3)

<評価：松岡デイ>

- ・「断らない姿勢」を心掛け、各関係機関との連携、利用者様への接遇強化に注力し、その結果コロナ前までには回復していないものの、前年と比較して延べ利用者数は大幅な増加となった。
- ・利用中の転倒事故が4件発生し、内手術、入院に至ったケースが1件あった。
- ・館内の設備老朽（特殊浴槽等）については今後も継続した課題である。

<評価：永平寺デイ>

- ・永平寺地区に限らず松岡、上志比地区からの利用者の受け入れ、障がい者の受け入れを積極的に行った。
- ・ご利用者様に楽しんでいただけるよう、館内だけのレクリエーションのみならず、外出行事（アイスクリームを満喫、花見、新幹線など）も積極的に取り入れた。
- ・令和6年度からの運営日変更に伴う説明を利用者の意向に寄り添いながら丁寧に説明をおこなった。その結果今期中に他事業所へ移行されるご利用者様もおり、冬季の利用者数減に繋がった。

<評価：上志比デイ>

- ・運営日変更での初年度にあたり、稼働率は6%向上したものの、新規の受け入れ数が減少、冬季間の利用減少が想定より多く、下半期の介護報酬比は前年比でマイナスとなった。
- ・一方でシフト制ではない職員配置により、職員間の情報共有やご利用者様に向き合う時間を多く作れ、今後はより質の高いサービス提供に繋げていきたい。

小規模多機能型居宅介護事業

○R5年度より休止

えいへいじ訪問入浴介護事業

障害福祉事業

1. 障害者計画相談事業
2. 自立支援居宅介護事業
3. 松岡自立支援生活介護事業
4. 永平寺自立支援生活介護事業
5. 自立支援訪問入浴介護事業

事業名	延べ利用人数 (前年比)	新規利用者数 (前年比)
計画相談支援	64名 (+7名) ※契約利用人数	9名 (-9)
障害児相談支援	41名 (-1名) ※契約利用人数	4名 (-11)
自立支援居宅介護事業	252名 (+7名)	1名 (±0)
松岡自立支援生活介護事業	18名 (-81名)	0名 (±0)
永平寺自立支援生活介護事業	166名 (-80名)	1名 (+1)
自立支援訪問入浴介護事業	36名 (+1名)	0名 (±0)

<評価>

○障害者計画相談事業：

例年との比較で、新規利用者数は鈍化傾向にあった。一方で、障害福祉サービスに繋がらない、不登校や引きこもりなどの困難ケースは増加しており、引き続き高い専門性の向上が望まれる。

○専門性の向上：「令和5年度福井県強度行動障害者支援者養成研修（基礎）」1名受講

えいへいじ居宅介護支援事業

ケアプラン作成件数 (前年比)	予防プラン作成件数 (前年比)	要介護認定調査件数 (前年比)	新規利用者数 (前年比)
2,656件 (-235件)	447件 (-58件)	236件 (-10件)	27名 (-39名)

<評価>

前年比で減員体制（2名減）でのスタートとなり、新規利用者の積極的受入れも難しく、プラン作成件数の減少となった。次年度以降も有資格者の減員が見込まれる中、事業体制維持に向けた取り組みを検討していく。

施設管理運営事業

1. 老人福祉センター運営事業

開所日数	244日（前年比+2日）
延べ利用者数	3,165名（前年比-22名）

地域包括支援事業

1. 包括的支援事業

1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワーク構築業務

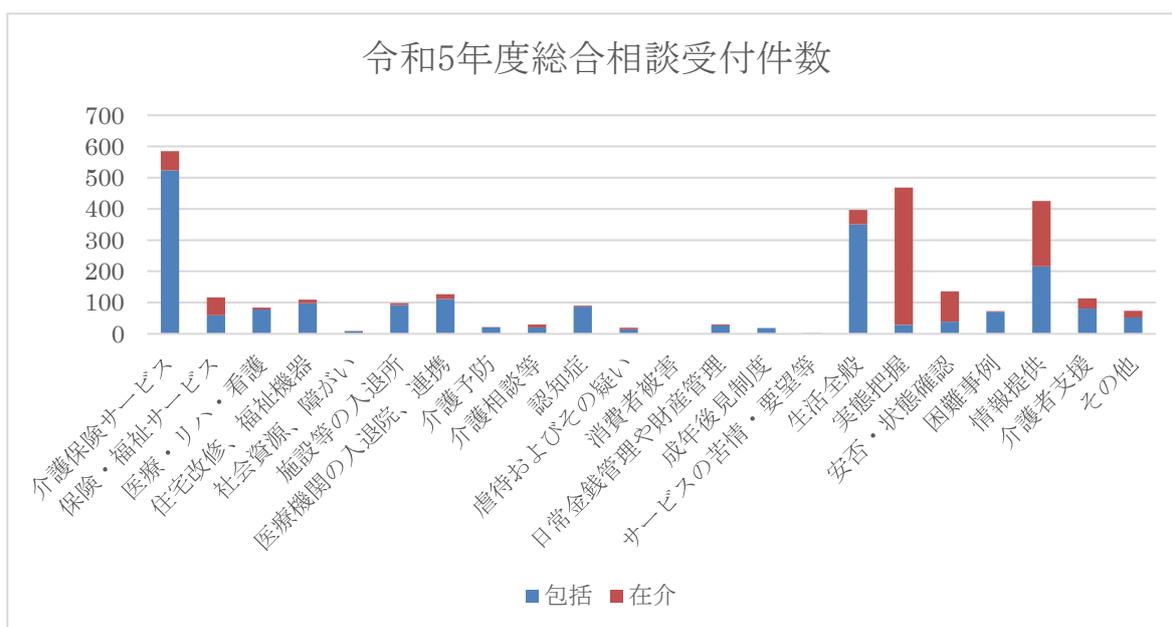
地域ケア会議 ・ 個別ケース会議 3回、自立支援ケア会議 8回

②実態把握業務

実態把握 466件（令和4年度実績：362件）

③総合相談業務

	地域包括支援センター	在宅介護支援センター	計
令和4年度	2,127件	635件	2,762件
令和5年度	1,991件	1,124件	3,115件



④総合相談窓口としての周知

リーフレットの作成。町内医療機関、薬局、銀行、郵便局等計 29 箇所に設置。

2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進

	令和 4 年度	令和 5 年度
人数	11 名	10 名
延べ相談・対応件数	21 件	18 件

②老人福祉施設等への措置の支援 0 件

③高齢者虐待への対応

年度	令和 4 年度	令和 5 年度
人数	8 名	10 名
延べ相談・対応件数	27 件	18 件

④困難事例への対応

	令和 4 年度	令和 5 年度
実人数	20 名	30 名
延べ相談・対応件数	107 件	73 件

⑤消費者被害の防止 1 件

⑥介護者支援に関する相談

	令和 4 年度	令和 5 年度
実人数	25 名	47 名
延べ相談・対応件数	68 件	123 件

⑦介護に関する事の出前講座 4 回

3) 包括的継続的ケアマネジメント事業

①介護支援専門員（ケアマネ）に対する支援

- ・ケアマネ連絡会の開催 12 回
- ・主任ケアマネ懇談会 4 回
- ・ケアマネ個別相談（延べ） 18 件
- ・研修会の開催 3 回
テーマ「福井県版エンディングノートつづみ」、「住宅改修の書類作成のポイント」
「社会資源の説明会（雪下ろし、近助タクシー、移動販売等）」

②地域密着型サービス事業所との連携

- ・運営推進会議に参画 5 事業所 22 回出席

4) 在宅医療・介護連携推進に関する業務

①関係機関との連携体制構築支援

- ・多職種連携研修会を開催 2 回
テーマ「認知症みんなで相談室」、「看取りについての意見交換会」

②住民への在宅ケア普及啓発活動

テーマ「地域で暮らしを支える在宅医療」48名参加

5) 生活支援体制整備事業

住民が主体となった支え合い活動を推進。地域全体で住民の生活を支える体制づくり。
地域福祉推進課・地域福祉活動コーディネーターとの連携。

- ・志比北地区座談会開催、ふれあいサロンと志比北小学校の交流会。
- ・松岡健康マージャン会の設立支援。
- ・「永平寺町買い物支援リスト」の作成。町内居宅・相談支援業所12か所に配布。

6) 認知症総合支援事業

①認知症サポーター養成講座の開催

- ・養成講座 4回 認知症サポーター養成数180名
- ・認知症予防 1回

②認知症地域支援・ケア向上推進事業

- ・認知症地域推進員新任者研修受講 3名（内：認知症カフェ運営者2名）
- ・認知症講演会「認知症 正しい理解と支援」家族介護者教室と協働開催 44名参加

③認知症カフェ

- ・3か所への企画、運営の支援

④徘徊高齢者などへの対策強化

- ・徘徊高齢者等SOSネットワーク登録者 6名

⑤町内キャラバン・メイト活動支援

- ・認知症サポーター登録者台帳の整理、認知症サポーターグループへの活動・運営支援

7) 介護予防支援事業

①介護給付による介護予防支援

	令和4年度	令和5年度
介護予防ケアプランの作成数	1,540件	1,593件
うち委託数	804件	927件
委託率	52.2%	58.1%

②総合事業による介護予防ケアマネジメント

	令和4年度	令和5年度
介護予防ケアプランの作成数	797件	861件
うち委託数	446件	535件
委託率	56.0%	62.1%

8) その他

①地域包括支援センターの業務を円滑に進めるための他部門との連携

- ・福祉保健課との連絡会、在宅介護支援センターとの連絡会（毎月開催）。

②福祉、医療人材育成への協力（実習生の受け入れ）

・福井大学(医学部医学科、看護学科)、福井県立大学(看護福祉学部) 計 27 名。

2. 一般介護予防事業

1) 介護予防教室の開催

・筋力トレーニング（ぞくぞく教室・もりもり教室）

	ぞくぞく教室		もりもり教室	
	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
回数	270回	281回	12回	10回
実数	50名	55名	5名	6名
延べ人数	1,791名	1,700名	51名	55名

・こつこつ教室 2会場（翠荘、さおう荘）

	令和4年度	令和5年度
回数	79回	91回
実数	45名	44名
延べ人数	1,113名	1,256名

・筋トレ教室 3会場（やすらぎの郷、開発センター、永寿苑、ふるさと学習館）

	令和4年度	令和5年度
回数	164回	172回
実数	101名	112名
延べ人数	2,222名	2,711名

・ケーブルテレビ放映を継続中 「いきいき百歳体操」「音楽で体操」「TV体操」

・地域サロン事業等での介護予防出前講座 1回

・地域づくりによる住民主体のいきいき百歳体操の普及 24か所

・地域介護予防活動支援事業

○フレイルチェック・周知活動 7会場 参加者 計 131名

○フレイルサポーター養成講座 1回 参加者 6名(サポーター登録者数 20名)

○フレイルサポーター交流会 3回 参加者 計 33名

3. 在宅介護支援センター事業

1) 高齢者の安否確認、実態把握及び相談対応

	令和4年度	令和5年度
安否確認	1,009件	1,295件
実態把握	362件	466件
相談対応	635件	1,124件

基金運営事業

1) 福祉基金事業

社会福祉事業の推進にあたり、必要とする費用の財源対策として積み立てる基金

2) 地域福祉事業安定化基金事業

住民の福祉需要に対応し、地域福祉事業の安定的な発展を図るため積み立てる基金

3) 介護保険事業安定化基金事業

介護保険事業運営に必要な財源の安定的確保を図るために積み立てる基金

4) 施設管理運営安定化基金事業

自ら保有する施設の維持管理及び適正な運営に必要な財源の安定的確保を図る目的で積み立てる基金